



四万十つるの里づくりの会 令和4年度取り組みダイジェスト

令和4年

年間を通じて

江ノ村地区でのツルの餌場・ねぐらづくり

【実施内容】ツルの越冬地となるよう、江ノ村地区の休耕地を復田し、地元で農業を営む会員に稲作を行ってもらいました。稲刈り後のツル渡来時期にはツルがねぐらとして利用できるよう、水田に水を張りました（10月を参照）。

7月

夏の「ツルの自然体験学習会」（中止）

※7月5日に予定していましたが、台風接近及びその後の新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止しました。

10月

代替ねぐらづくり

期間 ■ 10月下旬～3月中旬
場所 ■ 江ノ村①、江ノ村②、わらびおか 蕨岡、さんざき 実崎
協力 ■ 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会

【実施内容】多数のツルが飛来しても、主要なねぐらである四万十川の砂州への人の立ち入りなどによって飛び去ってしまい、越冬する数は非常に少ないことがわかっています。このため、ツルの飛来期に水田に水を張ってねぐらにする取り組みを行いました。そして、ツルを呼び寄せるため、ツルにそっくりの立体型デコイ（ツルの模型）を江ノ村①と実崎に、簡易な平面型デコイを蕨岡に設置しました。この結果、ナベヅル2羽が江ノ村①の水田をねぐらとして利用しました。



ツルの飛来状況調査

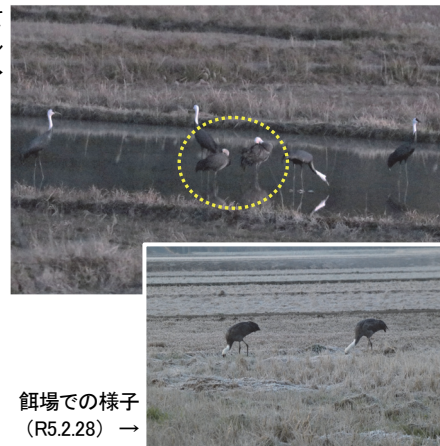
期間 ■ 10月下旬～3月中旬
協力 ■ 高知野鳥の会、国土交通省中村河川国道事務所

【実施内容】毎日、夜明けにねぐらにいる種類と羽数を確認し、ねぐらから飛び立った後は、水田地帯を巡回して降りている場所（餌場）と羽数、行動を記録しました。夕暮れ時にはねぐらに戻ってくるのかを確認しました。

【調査結果概要】

- ・初飛来は10月20日のナベヅル2羽と異例の早さでしたが、この2羽は愛媛県西条市と四万十市とを行き来した後、戻ってきませんでした。10月29日には1羽が確認されましたが、これもすぐにいなくなりました。
- ・11月13日の早朝に江ノ村①の水田でナベヅル1羽が確認され、12月15日にはもう1羽が合流しました。2羽は行動を共にし、3月12日まで滞在し、3年ぶりの越冬記録となりました。
- ・日中は有岡や江ノ村、宿毛市山田などの水田で、二番穂や落ち穂を食べていました。畦で稲モミ以外の小さなものをついばむ様子も確認されました。夜間は、江ノ村①のデコイの中央で寝ている姿が確認されました。

江ノ村①をねぐらとして利用するナベヅル (R5.1.11) →



餌場での様子 (R5.2.28) →

四万十市のツル パネル・写真展

期間 ■ 10月29日～11月7日（アピアさつき）、10月31日～11月14日（四万十市役所）
共催 ■ 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会

【実施内容】ツルを身近な鳥として感じていただくため、四万十市民の集まる場所にツルの写真等を展示し、当地への飛来の歴史や越冬中の行動などを紹介しました。



↑アピアさつき

↑四万十市役所

四万十川流域生態系ネットワークの取り組みへの参画

当会の会長と会員の一部は、「四万十川流域生態系ネットワーク」のワーキングにも参加し、ツルを活かした地域づくりの具体的な取り組みについて知恵を出し合い、行動しています。

【R4年度のワーキングでの取り組み内容】
※当会の取り組みと重複するものを除く

- ・ツル観察マナーの「広報しまんと」への掲載
- ・高知県（林業部局、観光部局、農業部局）へのヒアリング

地域の皆様、国土交通省中村河川国道事務所、セブンイレブン記念財団、(一社)四国クリエイティブ協会、(株)建設マネジメント四国など、多くの方々の協力や助成を得て、取り組みました。



取り組みの様子はホームページで公開中！

<http://www.nakamura-cci.or.jp/doc/tsuru/>



11月

秋の「ツルの自然体験学習会」

日時 ■ 11月4日 10:00～12:00
場所 ■ 四万十市立東中筋小学校、江ノ村箇所
参加者 ■ 34名（東中筋小学校5・6年生11名、その他23名）
共催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

【実施内容】教室では、四万十市に越冬に来たツルが何を食べているか、ねぐらから餌場まで飛ぶ際の速度などツルの生態を説明しました。その後、江ノ村①の水田に移動し、子どもたちに立体型デコイの設置と、水路の生き物観察（ツルの餌生物等）を行ってもらいました。



← 水路の生き物観察



デコイの設置 →

第14回 四万十つるの里祭り

日時 ■ 11月26日 10:00～14:00
場所 ■ 四万十市立東中筋中学校
来場者 ■ 約700人
後援 ■ 四万十市、四万十川自然再生協議会
協力 ■ 国土交通省中村河川国道事務所、渡川ダム統合管理事務所
助成支援 ■ (一社)四国クリエイティブ協会、(株)建設マネジメント四国
協賛 ■ 地域のたくさんの事業者の皆様

【実施内容】「つる祭り」として地元で親しまれているお祭り。今回は東中筋小の子どもたちの学習成果発表やツルの〇×クイズ大会、和太鼓の演奏など、多彩な催しが行われました。土石流や豪雨の体験、VRを使った工事現場体験などのブースからは子どもたちの元気な声がこだましてきました。大人たちは「ツル観察バスツアー」に参加し、ナベヅルが餌を採る様子をフィールドスコープで観察しながら、専門家の解説に熱心に耳を傾けていました。



↑ 東中筋小 学習発表



ツル観察バスツアー →



お餅・お菓子のプレゼント →



↑ 会場のにぎわい

令和5年

1月

冬の「ツルの自然体験学習会」

日時 ■ 1月16日 14:55～15:40
場所 ■ 四万十市立東中筋小学校
参加者 ■ 16名（東中筋小学校6年生7名、その他9名）
共催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

【実施内容】2月に四万十市内の全小学校が参加して行われる学習発表会で、6年生がツルに関する発表をするため、追加で学習会の開催を希望してくれました。この日は、越冬中のツルの行動を中心に解説しました。

学習会の様子 →



← 無事発表できたようです (R5.2.12)

2月

第4回 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会（会長が委員として参加）

日時 ■ 2月6日 9:30～11:30
場所 ■ 四万十市防災センター
参加者 ■ 27名
事務局 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

【実施内容】協議会では、多様な主体の連携・協働による四万十川の豊かな自然環境の保全・再生と地域活性化を目指しています。その手始めとしてツルが飛来・越冬できる環境・社会づくりを行っていることから、当会会長がR4年度のツルの越冬状況や代替ねぐらづくりの取り組みなどを報告しました。また、新潟県佐渡市長がトキの保護を通じた農業振興策等について講演し、四万十市での今後の展開について意見を交わしました。

会報「四万十つるだより」

当会の活動を紹介するため、会報を継続的に発行し、地域の回覧やツルの自然体験学習会等の行事で配布しています。R4年度はVol. 28を2月17日に発行しました。



※この資料の作成にあたっては、夕部眞一氏（四万十つるの里づくりの会）及び国土交通省中村河川国道事務所から写真を提供いただきました。